

令和元年 1 1 月

# 袋井市議会定例会

## 一般質問通告内容

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。  
Yahoo! や Google などの検索画面から  
[袋井市議会](#)を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ  
携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

# 袋井市議会

一般質問通告議員

実施日	質問順	議員名	質問形式	ページ
12/4(水) 午前	1	佐野 武次	一括	3
	2	村松 尚	一括	4
	3	岡本 幹男	一括	5
12/4(水) 午後	4	浅田 二郎	一問一答	7
	5	木下 正	一問一答	9
	6	竹野 昇	一問一答	11
12/5(木) 午前	7	森杉 典子	一括	13
	8	村井 勝彦	一問一答	14
	9	高木 清隆	一括	15

調整の結果、答弁者（市長、教育長）が変更される場合がありますので御了承ください。

質問順序	1	議席番号	3	質問者	佐野 武次	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	<b>計画伐採への取り組みについて</b> 停電の予防策として、台風などの暴風雨の際に倒れるなどして、電線を切断させる恐れのある樹木を、あらかじめ伐採することにより、停電の予防や復旧作業の円滑化に資する、計画伐採への取り組みについて市の考えを伺う。				市長	
2	<b>台風19号による海岸侵食への対応について</b> 浅羽海岸では、台風19号による強烈な高波によって、湊西地区から大野地区までの広範囲にわたって海岸が侵食され、約2メートルから高いところでは4メートルくらいの崖ができ、浜辺に下りられない大変危険な状況となっている。早急に県とも連携して安全対策を講ずるべきであると考えているが、市の対応方策について伺う。				市長	
3	<b>サンドバイパスシステムの事業効果と海岸の侵食対策について</b> 県事業により、福田漁港の港口の埋没防止と浅羽海岸の侵食防止対策として、平成26年3月から稼働を始めたサンドバイパスシステムの事業効果と今後の浅羽海岸の侵食対策について、市はどのように考えているか伺う。				市長	
4	<b>内水氾濫への対応について</b> 本市では、本年3月、激甚化する集中豪雨に対応するため、これまでの24時間の想定降雨量355.1ミリメートルを大幅に上回る629.5ミリメートルとする新たな洪水ハザードマップを作成したが、浅羽南地域を含む浅羽地域では、低海拔地域であることから、主要河川である太田川や弁財天川が増水した場合や高潮などによって外水位が高くなった場合、これだけの雨量を強制的に河川に放流する手段がない。ハザードマップで想定する雨量が降った場合の、この地域の内水処理について、どのように対応していく考えであるのか伺う。				市長	

質問順序	2	議席番号	17	質問者	村松 尚	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	<b>本市の子育て支援・教育の方針について</b> 本市の子育て支援・教育の方針について伺う。  (1) 本年10月より幼児教育・保育の無償化が始まったが、来年4月の保育所と幼稚園の入園申し込み状況はどうか。また、保育所の待機児童の対策について伺う。  (2) 放課後児童クラブの重要性の認識と待機児童の対策について伺う。  (3) 小中学校の適正規模の考え方を伺う。  (4) 市内に二つの小学校が別の中学へ進学している学区の再編の考え方はどうか。  (5) 特別支援、外国人児童が増加している。支援員の不足はないか。				教育長	
2	<b>個別施設計画の策定に向けた取り組みについて</b> 個別施設計画の策定に向けた取り組みを伺う。  (1) 公共施設の老朽化、社会の変化による適正管理はどう進めるか。  (2) 本市において今後の施設の複合化をどのように進めるのか。  (3) 総合健康センターの使用されていない空き室に袋井図書館の移転を提案するがどうか。				市長 教育長	
3	<b>市内へ道の駅を望む声があるが考え方について</b> 市内へ道の駅を望む声があるが考え方を伺う。  (1) 道の駅の利用が多様化している。大きな災害が発生した時に避難場所などとしての活用が望まれるがどうか。  (2) 市民及び観光客が、地場産品・特産品を望む声や購入場所が少ないとの声があるがどうか。				市長	
4	<b>主要道路整備について</b> 主要道路整備について伺う。  (1) 都市計画道路上久能山科上線の整備の進捗を伺う。				市長	

質問順序	3	議席番号	13	質問者	岡本 幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
1	<p><b>洪水対策について</b></p> <p>台風や集中豪雨による洪水対策につき、次の4点を伺う。</p> <p>(1) 水防法の改正により作成された今回の洪水ハザードマップは水防法の指定河川である太田川、原野谷川、敷地川、宇刈川、逆川の5河川以外は洪水浸水想定区域の表示がない。5河川以外につき、従来の洪水ハザードマップとの兼ね合い、今後静岡県が作成するとされる小規模河川の「水害危険情報図」（仮称）を受けての対応を含め、どのように対応していくのか問う。</p> <p>(2) 台風19号での袋井駅南地区、特に高南地区の床上・床下浸水を今後解消させるため、袋井駅南地区治水対策の方針にある遊水池の設置の今後の具体化策はどうか。また、袋井市中部総合的治水対策において整備済みとされた高南小学校他の校庭雨水貯留施設及び高尾放水路は今回の台風時に十分機能したか。</p> <p>(3) 洪水時指定緊急避難場所の運用について問う。今回の台風時、実際避難された人に提供されたのがマットのみであったため毛布を自宅に取りに戻ったケースもあったと聞く。備品の状況と運用に不備はなかったか。また、洪水時指定緊急避難場所はかなり遠隔なケースも多く、自家用車の無い一人住まい高齢者など移動が困難な人への対応を今後どのようにしていくか。</p> <p>(4) 浅羽地域湛水防除施設組合の施設のうち、中新田排水機場、江之端排水機場は、令和2年度から組合の解散により袋井市の施設となる。ところが、トイレ施設が使用可能な状態で整っていない現状にある。従来よりの市所有の排水機場を含め、排水機場の安定的運用と担当職員の安全確保のためトイレ施設の整備を急ぐべきと考えるがどうか。</p>				市長
2	<p><b>図書館の機能強化について</b></p> <p>袋井市内図書館の機能強化につき、次の3点を伺う。</p> <p>(1) 現在、蔵書・資料保管機能やレファレンス機能など中央図書館としての機能を持つ袋井図書館は、スペース的な限界が以前より指摘されている。そこで、袋井図書館の市民向け機能は維持したまま、浅羽支所1階空きスペース及び2階の水道課及び下水道課が移転したスペースに中央図書館としての機能を移転させ機能を充実させるべきと考えるがどうか。</p>				市長 教育長

質問順序	3	議席番号	13	質問者	岡本 幹男	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
2	<p>(2) 袋井市内図書館3館の蔵書点数を、磐田市や掛川市や他の同規模市と比較した場合、絶対数と市民一人当たりの蔵書数で劣っていないか。また、DVDやCDなどの視聴覚資料の点数が不足していると考えがどうか。</p> <p>(3) 図書館のソフト面の運用について問う。国立国会図書館が行っている図書館向けデジタル化資料送信サービスや静岡新聞・日本経済新聞の記事検索サービスなどの利用を含み、レファレンス機能の充実をいかに行っているか。また、今回12月3日よりの図書館システムの更新が目的とするところと市民への周知について問う。</p>				市長 教育長	
3	<p><b>コミュニティセンターの施設の充実について</b> 地域づくりや防災拠点となるコミュニティセンターの施設について、次の2点を問う。</p> <p>(1) 袋井市内全14コミュニティセンターのうち、調理施設がないのは浅羽東、浅羽北、浅羽南の3施設のみである。調理施設は災害時の食事提供に不可欠であり、また料理教室など地域づくりにも有効である。このため、3施設への設置を急ぐべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 各コミュニティセンターでは雨漏り箇所等施設の老朽化が進行し、事後保全的改修も不十分と聞く。予防保全的改修への転換も含め今後の維持方針を問う。</p>				市長	

質問順序	4	議席番号	14	質問者	浅田 二郎	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
1	<b>スポーツ施設の使用料の見直し</b> 風見の丘のプール等で、使用料と利用料に差異ができています。例えば、個人でプールに入る場合、実際には利用料510円であるが、条例上の利用料は620円である。  (1) どのような経過で、使用料と利用料が決まるのか。  (2) 指定管理者制度を導入している他の施設で、このような例があるのか。  (3) 条例上、利用料を「使用料を上限とする」という意味は。  (4) 指定管理者とはどのような協議が行われ、使用料と利用料の差異はどのように処置されるか。  (5) 市の施設使用料算定の方針に問題はないか。  ア 同様な施設利用は同一料金とするなどの画一性について  イ 受益者負担の原則、市と利用者の負担割合の押し付けについて  ウ 利用者を考慮しない一方的設定について				市長	
2	<b>支所機能としてどのような機能を考えているか</b> (仮) 教育会館の建設に伴い分庁機能がなくなる旧浅羽町役場の利活用が課題となっている。その中で支所機能は継続するとされている。  (1) 支所とは何か。  (2) 現在の浅羽支所は、支所機能を果たしているのか。  (3) 支所でなく、市民サービスセンター（出張所的）としていく考えは。				市長	
3	<b>生活保護の利用を高めよう</b> 生活が厳しくなっていく中、セーフティネットとしての生活保護制度はその重要性を増している。利用を阻む要因としての「自家用車の保有・利用の原則禁止」について尋ねる。				市長	

質問順序	4	議席番号	14	質問者	浅田 二郎
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
3	<p>（1）生活保護受給の現状</p> <p>（2） 捕捉率をどの程度とみているか。準要保護児童生徒数の増加や国民健康保険税の減免世帯の増加などから推測できないか。</p> <p>（3） 自動車所有の原則禁止の緩和を。</p> <p>ア 本市で自家用車保有の例はあるか。</p> <p>イ 保有が認められる資産とは。</p> <p>ウ 子育て・教育、通勤、通院に必要なもの。</p> <p>エ 障がい者にとっては、生活や行動に必需なもの。</p>				市長



質問順序	5	議席番号	4	質問者	木下 正
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>耕作放棄地による治水・洪水対策について</b>  (1) 高南地区、秋田川北側の農地の現状はどのようになっているかを問う。  (2) 高南地区では高齢者も多い中、自治会連合会長や有志の皆さまが率先して「草刈り隊」を結成して、市道田端8号線、同6号線、そして、ミクリロード沿いの耕作放棄され草や木が繁茂し、交通事故、痴漢の出没など危険だと感じられる場所の草刈り等をして一生懸命汗をかいている。このことを市長は認識しているか。認識しているのであれば、その感想を問う。  (3) 水田の貯留機能、遊水機能が洪水の緩和・軽減につながっていることは承知しているか。耕作放棄地により畔が崩壊し貯留機能が喪失することは認識しているか。  (4) 今回台風19号により高南地区小川町内で洪水被害地区北側の秋田川はこの付近ではほぼ直角に蛇行し、新幹線北側の調整池からの水路と合流している地点である。過去にも数回の洪水被害があった地域である、河川の蛇行や合流が洪水に影響はなかったか。  (5) 耕作放棄地をため池にすれば、耕作放棄地解消、洪水対策、景観問題等多くの問題が解決すると思われるが見解を問う。				市長
<b>2</b>	<b>今後の地域公共交通とまちづくりへの活用</b>  (1) 民間バス路線の相次ぐ廃止の原因や、静岡県全体と比べて自家用車などの利用が多い理由を分析したことがあるか。  (2) 袋井市における交通分担率と糖尿病患者数の関連性を検証したことはあるか。  (3) 袋井市都市計画マスタープランの全体構想のうち、交通に関してさまざまな方針が示されているが、現状はどうか。  (4) マスタープランの目標年次は2035年となっているが、今現在の交通弱者のための交通ネットワークの構築が必要であると考えているが、いつまでに構築する予定であるかを問う。				市長

質問順序	5	議席番号	4	質問者	木下 正
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
2	<p>(5) 国土交通省「自家用有償旅客運送ハンドブック」に事業主体者は市町村、NPO法人、自治会等や商工会議所も主体となって実施できるとある。地域住民や各種団体に対し、運営協議会立ち上げの情報の提供が必要であると考えますが検討はしたか。</p> <p>(6) 従来は旅客の対象を地域住民または旅客の名簿に記載された者に限定していたが、市町村長が認めた場合には、地域外からの来訪者も運送できるようになった。交通弱者の交通手段の確保、コンパクトシティネットワークの構築、来訪者による人の交流の活発化、健康増進などまちづくりへの活用が期待されるが所見を問う。</p>				市長

質問順序	6	議席番号	5	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<p><b>治水対策について</b></p> <p>台風19号で袋井市も床上・床下浸水、道路冠水などの被害が出た。床上・床下浸水被害が出た地域は、過去にも同様な被害が発生している治水対策が必要な地域であり、万全の対策が講じられなかったせいで被害が出ている。そこで今後二度と同様な被害が起きないように、以下の対策を望むが市当局の考えを問う。</p> <p>(1) 高南地区小川町の床上・床下浸水、道路冠水を防ぐには、最終的に駅南地区の水が集まる柳原ポンプ場周辺に新たな都市排水ポンプの設置が必要である。来年度予算措置を望む。</p> <p>(2) 平成27年度建設経済委員会に建設課から出された対策に、柳原ポンプ場の周辺に水を受ける遊水池構想がある。新幹線南側にも遊水池が必要であるが（この要望は木下議員から出される）、柳原ポンプ場周辺への遊水池設置を望む。</p> <p>(3) 小川町郵便局から新幹線ガード下まで北に延びる地域幹線道路（市道袋井浅羽線）が冠水・不通にならないよう、かさ上げを望む。また小川町公会堂から北に延びる市道（市道田端6号線）の冠水を防ぐため、かさ上げを望む。</p> <p>(4) 愛野地区小野田の住宅が2軒床上浸水被害が発生し、道路も冠水した。自治会長や住民から排水路の改善（年に1回の堆積した砂や泥のかき出し含む）や水門を閉めた際、原野谷川に水を排水するポンプをもう1基新設してもらえたらありがたいとの要望を伺った。改善を望む。</p> <p>(5) 県の協力を得て、原野谷川川底の堆積した砂をさらに浚渫し、水の流れをよくするようにしてほしい。</p>				市長
2	<p><b>袋井市災害見舞金交付要綱の見直しについて</b></p> <p>万全の対策を講じておれば防げたかもしれない水害被害は、市の責任が問われる。現行の災害見舞金はあまりにも少額であり、床下浸水被害世帯への交付も必要である。改善を望むが当局の考えを問う。</p> <p>(1) 平成24年3月30日告示の要綱に、住家が床上浸水したと判定された場合、1世帯につき1万円以下の見舞金を交付するとあるが、畳の張り替えなどが生じた際、1万円ではあまりにも少額である。見直しを望む。</p>				市長

質問順序	6	議席番号	5	質問者	竹野 昇	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
2	(2) 床下浸水被害が生じた世帯に見舞金交付ができるよう、要綱の見直しを望む。				市長	
3	<p><b>待機児童ゼロ対策について</b></p> <p>今年度4月1日時点で58名の待機児童を出したが、来年度はゼロにできるか危惧している。このままではまたしても県下ワーストワンの待機児童を出す恐れを感じている。そこでいくつかの質問と、具体的な対策を提案するが、当局の考えを問う。</p> <p>(1) 来年度0歳児から2歳児までの保育園（認定こども園含む）入園希望者数を、年齢ごとに教えてほしい。</p> <p>(2) 入園希望者に対し、0歳児から2歳児までの受け入れ定員数と、あふれる数を、教えてもらいたい。</p> <p>(3) ゼロにする具体的な提案だが、既存の公立幼稚園を幼保連携型認定こども園に移行させてはどうか。文部科学省初等中等教育幼児教育課のホームページに移行の具体的な説明や財政支援について書かれている。私は電話で2回担当者に確認もしている。本気で「子育てするなら袋井市」の理念を実現する熱意があるなら、移行に向けて具体的な措置をとるべきだと考えるが、市長の考えを問う。</p>				市長 教育長	
4	<p><b>来年3月末完成予定のJR袋井駅周辺自転車等駐輪場について</b></p> <p>駅北口に自転車・オートバイ合わせて600台、南口に自転車・オートバイ合わせて400台の新たな駐輪場ができる予定であるが、現在・過去の利用状況からこれで足りるのか懸念している。</p> <p>(1) 新たに作る北口・南口駐輪場の自転車とオートバイ収容数を、明らかにしてほしい。</p> <p>(2) 11月19日天気晴れ午後2時前の南北仮設駐輪場に、自転車920台、オートバイ53台が駐輪されていた。新設される南北駐輪場は合わせて1,000台を予定しているから全て収容できるように見えるが、オートバイを収容するにはスペースを大きくとる必要があり、実収容数が1,000台を切るのではと危惧しているが、この点大丈夫なのか。</p> <p>(3) 自転車・オートバイの駐輪利用者数は年度により異なる。自転車を活かしたまちづくりを進める袋井市として、収容しきれない場合どのような対策をとる予定か、説明してほしい。</p>				市長	

質問順序	7	議席番号	1	質問者	森杉 典子	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	<b>骨髄バンクドナー登録の推進について</b> 日本では毎年新たに約1万人以上の方が白血病などの血液疾患を発症しているといわれ、そのうち骨髄バンクを介する移植を必要とする患者は毎年2,000人いるといわれています。さらに、多くの方々の骨髄バンクと移植について理解と協力が必要な状況です。  (1) 本市の骨髄バンクドナー登録の状況を伺う。  (2) 骨髄バンクドナー登録を増やすための本市の取り組みを伺う。				市長	
2	<b>保育士の確保について</b> 働く女性が増加し、待機児童が増えていく中で、保育の受け皿と保育士の確保が重要となっています。  (1) 本市の保育士確保の状況を伺う。  (2) 保育士等の就職支援の取り組みを伺う。				教育長	
3	<b>児童虐待防止について</b> 本年は「子どもの権利条約」が採択されてから30周年の節目となりますが、全国の児童相談所に寄せられた虐待の相談対応数は、年々増加しています。  (1) 本市の児童虐待の通告や相談件数、虐待の内容などの現状を伺う。  (2) 本市の児童虐待に対する取り組みや啓発について伺う。				市長	

質問順序	8	議席番号	2	質問者	村井 勝彦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>防災対策の取り組み</b> 集中豪雨、台風などにより全国各地において河川の氾濫や強風による建物等に大きな被害があった。本市の自然災害等に対する防災対策の取り組みはどうか。				市長
	(1) 自然災害等により被災した住宅等の応急復旧体制はどうか。				
	ア ブルーシートによる応急復旧が必要となった場合、応急復旧に従事する作業員等に関して、十分な体制が確保されているか。				
	イ 応急復旧などに必要なブルーシートや土のう等は十分確保されているか。				
	(2) 停電時における住宅等の電力を確保する1つの方法として、非常用小型発電機の活用が有効であると考えているが、今後、非常用小型発電機の普及を検討してはどうか。また、普及にあたり、購入費に対する助成制度を設けてはどうか。				
	(3) 集中豪雨等により水田から稲わらが流出し堆積したことによる住宅等への浸水被害や道路に堆積し通行止めとなるなどの被害が発生したが、今後、稲わらの流出についてどのような対策をしていくか。				
	(4) 集中豪雨等による住宅等への浸水や土砂災害など、自然災害に対する地域防災計画を早期に策定し、市民に周知すべきではないか。				
<b>2</b>	<b>児童の通学における課題と支援</b> 児童の通学は原則として徒歩通学としているが、かなりの距離を徒歩で通学している現状もあり、児童にとってはかなりの負担となっているのではないか。				市長 教育長
	(1) 児童の通学において、路線バスが通っている地域は保護者が希望すればバスでの通学が認められているが、路線バスがない地域では徒歩通学であり、児童にはかなりの負担となっているが、この状況をどのように考えているか。				
	(2) 児童の通学時における安全の確保や通学における負担の軽減を図ることを主な目的とした地域協働運行バスの運行を地域で計画する場合、どのような課題があるか。また、地域協働運行バスを運行する場合、市はどのような支援ができるか。				

質問順序	9	議席番号	16	質問者	高木 清隆	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	<b>人口減少社会に向けたまちづくりに向けて</b> 地域経済の自立と持続可能なまちづくりを進める上では、人口減少社会に適応する地域経済社会を構築することに注力しなければならない時代となっている。  (1) 産業経済懇話会の提言をどう活かし、施策展開をしていくのか。  (2) 相乗効果が得られる企業の誘致が必要と考えるが。  (3) 市内中小企業に向けたイノベーション支援が必要では。  (4) 循環型地域経済の構築に向け、どう取り組んでいくのか。				市長	
2	<b>公共施設マネジメントへの取り組みについて</b> 公共施設等総合管理計画を実行性のあるものとし、継続的に取り組める仕組みづくりが必要。  (1) サウンディング調査から、保有資産の有効活用に向け、得られたことは何か。  (2) 公共施設等総合管理計画を基にした個別計画の策定状況は。  (3) 公共施設マネジメント計画においては、現実的な数値目標の設定が必要では。  (4) 公共施設マネジメントへの取り組みにおいては、公会計情報の活用が必要では。  (5) 市民の合意形成に向けて、プロセスデザインに取り組んだらどうか。				市長	
3	<b>小学校における新学習指導要領の実施に伴う課外活動への対応について</b> 袋井南小学校のマーチングが、課外活動として取り組んでいる中、令和2年度から新学習指導要領が完全実施となることから、袋井南小学校のマーチング活動への取り組みについての考え方を問う。  (1) 袋井南小学校のマーチング活動の位置付けと、取り組みをどう評価しているのか。				教育長	

質問順序	9	議席番号	16	質問者	高木 清隆
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
3	<p>(2) 袋井南小学校のマーチング活動における指導者の位置付けと、継続していく上での課題は何か。</p> <p>(3) 今後の袋井南小学校マーチング活動に対する市教育委員会としての基本的な考え方は。</p>				教育長
4	<p><b>中心市街地におけるコワーキングスペースの開設について</b></p> <p>単なる作業場ではなく、利用者同士が交流し、そのコミュニティを活用しながら仕事を進めて行くことにより、新しいビジネスへの発展が期待されている。</p> <p>(1) サテライトオフィス社会実験における課題をどう分析し、活かしているのか。</p> <p>(2) コワーキングスペースのメリット・デメリットについて、どう捉えているのか。</p> <p>(3) 袋井市の成長戦略を描く上で、市として必要なコワーキングスペースとは。</p>				市長